

とよなかの市民活動 共同デスク

2014年7月発行 第12号

とよなかの市民活動・共同デスク実行委員会

(社福) 豊中市社会福祉協議会

(公財) とよなか国際交流協会

(一財) とよなか男女共同参画推進財団

(公財) 豊中市スポーツ振興事業団

(特活) とよなか市民環境会議アジェンダ21

(特活) とよなか市民活動ネットきずな(事務局)

● 豊中市社会福祉協議会 相談事業での協働

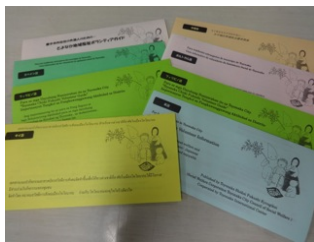
豊中市社会福祉協議会において、コミュニティソーシャルワーカー(以後CSW)は生活圏域7圏域に2名ずつ14名の職員が配置され、住民が抱えている問題に対して相談支援を行っています。また、福祉なんでも相談窓口を36校区で設置しております。この窓口は研修を受けた校区福祉委員や民生委員などの地域住民が相談を受け、様々な問題を適切に関係機関につなぐ、また、それが困難な場合は解決に向けて行政、事業所、関係機関の協力を得ながら地域住民とCSWとともに解決に向けて、支援をおこなっています。

共同デスク参画団体には、それぞれの特徴を活かした相談を実施されています。具体的な個別事例で各団体が行っている専門相談(例えばDV相談、外国人生活相談など)が必要となり、つなげていることが多くあります。共同で動き中間支援組織がお互いを理解することにより、市民を支援する体制がスムーズにとれることが「協働」の効果と考えます。

● とよなか国際交流協会×豊中市社会福祉協議会 多言語の社協のパンフレット作成

とよなか国際交流協会(以下、協会)は「多様な人々が尊重される地域づくり」、「周縁化される外国人のための総合的な仕組みづくり」、「学校とつながってつくる豊かな未来」の3つを柱に、分野を超えた多様な団体と共に様々な事業を展開しています。その団体の一つが、共同デスクのメンバーでもある豊中市社会福祉協議会(以下、社協)です。社協とは、2001年に「ボランティアリーダートレーニングコース」を共同企画したことをきっかけに、阪神淡路大震災の時の取り組みを描いた絵本の8カ国語での翻訳、社協のパンフレットの多言語化、生活困窮や就労支援、子育て支援といった個別支援を連携して行っていました。外国人住民の抱える課題は協会だけで解決できるものではなく、社協との連携は、外国人を支え共に生きるための地域づくりには必要不可欠となっています。

★現在、多言語化した社協のパンフレットをリニューアル中です。



● とよなか市民活動ネットきずな

「きずな」の10年の活動から、「中間支援」組織の大切な機能が見えてきました。それは、「触媒役」という機能です。それぞれに、いろんな可能性を持っている団体であったり、個人であっても、いい出会いがなければ、可能性の花が開かないものなのかもしれません。「きずな」のメンバーは、いろんな活動分野で活動しています。それだけに、いろんな個人や団体と出会う機会が多く、話していると「協働」の可能性が見えました。「可能性を紡ぐ」には、出会いの後、信頼の醸成が必要でした。お互いフラットでオープンに付き合うようになり、いくつかの「協働」ができあがって行きました。いろんな市民団体と「協働」してつくりあげてきている豊中まつり「市民ふれあい広場」、「みんなで作る市民文化祭」をはじめ、いろんな団体のイベントの共催、後援などお互いに「入り組んで」活動してきました。これからも「触媒役」としてお役に立てればと思っています。

※ この壁新聞は、6つの中間支援団体のとりくみを、分野をこえて情報発信しようと考えた取り組みです。



「協働」する「共同デスク」



「とよなか市民活動共同デスク」を構成する6つの法人は、市民のみなさんに親しまれる事業・施設をめざして、各分野で関係先などと「協働」で取り組んできました。そして今、「共同デスク」では分野をこえた「協働」により、市民のみなさんに役立つ新たな可能性を模索しようと語り合っています。たとえば、市民のいろんな相談や課題に対して、よりよい情報や解決策を「共同デスク」のネットワークで提供していくことなどが考えられます。今号では、「共同デスク」を構成している法人同士の「協働」の事例やその思いなどを紹介します。



● とよなか市民環境会議アジェンダ21×豊中市スポーツ振興事業団 とよなか市民環境展での協働

とよなか市民環境会議アジェンダ21では、豊中市内で活動する市民・事業者・行政の環境活動の発表の場として、また、小学生を中心とした子どもたちの環境学習の場として、年に1回「とよなか市民環境展」を開催しています。2013年度は2日間で約2,600人の来場がありました。

市民会館の閉館に伴い、3年前に会場を豊島体育館に移してからは、体育館の指定管理者である(公財)豊中市スポーツ振興事業団に共催として協力をいただいています。ここで言う協力とは、準備段階のプロジェクト会議から一緒に参加し、会場の外回りの利用方法を一緒に考え、前日に体を一緒に敷き、当日も一部を対応していただく…などなど。まさに全面的な関わりで、市民会館よりも会場面積が広がった環境展を支えています。一方、事業団では体育の日イベントの中で、ステージや飲食を実施されるなど、環境展の内容をヒントにされるなど、事業団にとっての協力のメリットも生まれつつあります。環境展を通して、今後ますます協働とパートナーシップを深め、両者が相乗的に発展していきたいと思えます。



● とよなか男女共同参画推進財団×とよなか国際交流協会×とよなか市民公益活動協議体 らっぷ 「こくりゅう・すてっぷ・サロンでジャンプ!! 広げよう市民活動」を開催!

日時: 2014年9月21日(日) 10時~15時(とよなか国際交流センターは16時まで)

場所: 豊中駅前広場、国際交流センター、すてっぷ

とよなか国際交流センター、すてっぷ、市民活動情報サロンをそれぞれ運営する3団体が連携し、市民活動を紹介するイベントを開催します。日頃はそれぞれに活動している市民団体の交流を図り、市民のみなさんへ活動への参加を呼び掛けます。

豊中駅前広場の特設ステージ&テントでは、沖縄の伝統芸能エイサー、大正琴の演奏、バンド演奏、放射能空間線量測定コーナーをはじめ楽しく学べる催しが盛りだくさん。エトレ豊中の6階のとよなか国際交流センターでは「国際交流と人権を考えよう Part I」として、登録団体が日頃の活動の成果を発表。外国人の人権を考える展示、世界の料理やお茶の販売、外国にルーツを持つ若者のダンスなどの催しがあります。5階のすてっぷでは、ライブラリーまつりを中心に、登録団体による女性のカラダと健康をテーマとしたヨガ体験、市民団体による親子でのちとからだを学ぶ講習会、アロママッサージなどがあります。豊中駅前広場からエトレ豊中へ、ぜひお立ち寄りください。

● 豊中市スポーツ振興事業団×とよなか市民環境会議アジェンダ21 プールでサツマイモ?!?!

豊中市スポーツ振興事業団では、屋内体育施設を管理運営しているマリノード豊中スイミングスタジアム(豊島温水プール)にて、地域貢献事業『とよすぽファームプロジェクト in てしま』を実施しています。この事業は、「プールの空き地を有効活用・地域貢献事業はできないか?」ということをして、「とよなか市民環境会議アジェンダ21」のプロジェクトである「花と緑のネットワークとよなか」に相談し、アドバイスをいただき誕生した事業で、当初何のノウハウもない我々に様々な事を教えていただきました。サツマイモの植付け等から収穫までに行う作業は近隣の幼稚園など子どもや職員の方と協力して、収穫の際には立派なサツマイモと多くの子どもの笑顔が溢れています。この事業も3年目を迎え、今年も5月に苗の植え付けを終え、10月に収穫祭を予定しています!!



協働の触媒役として